様式第6号 (第17条)

会 議 録

会議の名称		2024年 第9回 春日部市農業委員会総会			
開催日時		令和6年9月25日(水)		開 会	午前10時00分
				閉 会	午前11時38分
開催場所		春日部市役所本庁舎3階 301・302会議室			
議長氏名		会長 市川 大倫			
出席者	農業委員	(出席人数：19人)			
		1	川鍋 浩之	10	岡田 實
		2	飯島 優子	11	新井 久義
		3	齋藤 昭雄	12	加藤 富夫
		4	山崎 勇喜	13	池上 茂
		5	中山 雅博	14	森本 恒平
		6	岡本 勉	15	森住 武雄
		7	石山 法男	16	萩原 勝
		8	石川 勝也	17	伊藤 弘子
		9	水口 健二	18	石塚 郁志
		(欠席人数：なし)			
事務局	(出席人数：4人)				
	農業委員会事務局長 齋藤 綱紀		農業委員会事務局次長 溝口 通明		
	農地振興担当主幹 三浦 邦明		農地振興担当主査 金子 昌行		
議事参与	(出席人数：2人)				
	農業振興課長 浜村 三博		開発調整課長 福井 聖士		
次第及び公開、一部公開、非公開の区分		日程1 農地法第3条(委員会)：公開 日程2 農地法第4条(知事) 日程3 農地法第5条(知事) 日程4 農地法第5条事業計画変更申請 日程5 生産緑地法従事者証明			

	日程 6 春日部市農用地利用集積計画の決定について 日程 7 生産緑地地区の取得斡旋について 日程 8 令和 7 年度春日部市農業施策等に関する意見書について								
一部公開・非公開の場合はその理由	☐ 要綱第 3 条第 1 号該当： ☐ 要綱第 3 条第 2 号該当： ☐ 要綱第 3 条第 3 号該当： ☐ 要綱第 3 条第 4 号該当：								
配 布 資 料	次第、総会資料								
会議録の作成方法	☐ 録音テープ等を使用した全文記録								
	☒ 録音テープ等を使用した要点記録								
	☐ 要点記録								
会議録署名の指定	<table border="1"> <thead> <tr> <th>議席番号</th> <th>委員氏名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 4</td> <td>森本 恒平</td> </tr> <tr> <td>1 5</td> <td>森住 武雄</td> </tr> <tr> <td>1 6</td> <td>萩原 勝</td> </tr> </tbody> </table>	議席番号	委員氏名	1 4	森本 恒平	1 5	森住 武雄	1 6	萩原 勝
	議席番号	委員氏名							
	1 4	森本 恒平							
	1 5	森住 武雄							
1 6	萩原 勝								

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
議長	ただ今から2024年第9回総会を開会いたします。 在任委員19名が出席しておりますので、春日部市農業委員会会議規則第6条の規定により総会は成立いたします。 また、本日は議事参与者としまして、市長部局より環境経済部農業振興課、浜村三博課長、都市整備部開発調整課、福井聖士課長が出席しております。
議長	次に、運営委員会について伊藤委員長より報告がございます。
委員長	本日午前9時00分から運営委員会を開催いたしました。会議内容ですが、議題として (1) 春日部市農用地利用集積計画の決定について (2) 生産緑地地区の取得斡旋について (3) 令和7年度春日部市農業施策等に関する意見書について (4) 第49回農業祭への参加について 以上4項目についての協議と、その他、意見交換を行いました。
議長	ありがとうございました。
議長	お手元の議案書のうち、日程1、議案第1号、農地法第3条(委員会)申請番号40番は議案書発送後に取下げがありましたので、欠番となります。議案書から削除をお願いいたします。
議長	そのため、本日の議題は、 日程1 議案第1号「農地法第3条(委員会)」 1議案1件 日程2 議案第2号「農地法第4条(知事)」 1議案1件 日程3 議案第3号「農地法第5条(知事)」 1議案7件 日程4 議案第4号「農地法第5条事業計画変更申請」 1議案1件 日程5 議案第5号「生産緑地法従事者証明について」 1議案1件 日程6 議案第6号「春日部市農用地利用集積計画の決定について」 1議案1件 日程7 議案第7号「生産緑地の取得斡旋について」 1議案1件 日程8 議案第8号「令和7年度春日部市農業施策等に関する意見書について」 1議案1件 合計8議案となります。
議長	次に、会議規則第35条の規定により議事録に署名する委員を指名いたします。それでは議席番号14番森本恒平委員、15番森住武雄委員、16番

	萩原勝委員を指名いたします。
議長	議事に入る前に申し上げます。会議規則第25条の規定に基づき、発言の際は挙手のうえ、指名されてから起立して議席番号及び氏名を述べてから発言をお願いします。 次に、事前審査の日程及び事前審査委員、農地利用最適化推進委員並びに議案の説明者につきましては、別紙一覧でお示しのとおりです。
議長	それでは議事にはいります。日程1、議案第1号、農地法第3条（委員会）を議題といたします。申請番号39番について事務局より説明を求めます。
事務局	議案書1頁をご覧ください。議案第1号、農地法第3条（委員会）について許可申請が1件ありましたので、審議を求めます。 申請番号39番、所有権移転。詳細は議案書の記載のとおり。申請理由は経営規模の拡大です。案内図は1頁、詳細図は2頁となります。スクリーンをご覧ください。申請地となります。ここでは稲作を行う計画です。次に農地法第3条調査書1頁をご覧ください。書類調査の結果、農地法第3条第2項各号に該当しないことを確認しました。また、農地法施行規則に基づく申請書が整っております。
議長	おはかりいたします。はじめに推進委員より意見を求め、次に事前審査委員より報告を求めたいと思います。これにご異議ございませんか。 （なしの声あり）
議長	異議なしと認めます。申請番号39番について担当地区の関根栄推進委員より意見を求めます。
推進委員	第2地区推進委員の関根栄です。申請番号39番について報告いたします。令和6年9月10日に石川農業委員、岩本推進委員及び私の3名で申請地及び保有農地の現地調査等を実施しました。まず申請地については問題ありませんでした。次に保有農地ですが、その筆数が多いことから市川会長及び事務局と相談し、昨年秋に行った農地利用状況調査で確認ができなかった農地について調査を行うこととしました。その結果、どの農地も問題無く耕作されており、農地法第2条の2で定められた農地の農業上の適正かつ効率的な利用が確保されていることが確認できました。また、譲受人は第3地区及び第4地区にも農地を所有しておりますが、それらの確認については、各地区の担当地区推進委員から問題が無かったことを事務局を経由して報告を得ております。以上のことから問題なし、と意見を述べ、報告といたします。

す。

議長

次に、事前審査委員より報告を求めます。議席番号11番新井久義委員より申請番号39番について事前審査の報告を求めます。

委員

議席番号11番新井久義です。申請番号39番について事前審査の報告をします。日時、事前審査委員等はお示ししたとおりです。申請地及び申請人保有農地について担当地区推進委員に意見を求めたところ、問題はなく、農地法第2条の2で定められた農地の農業上の適正かつ効率的な利用が確保されている、と報告を受けました。以上のことから事前審査委員4人の合議により許可、と決しました。

議長

これより質疑を求めます。発言のある方は挙手願います。

(質問、意見なし)

議長

質疑なしと認め、質疑を終結します。採決にはいりません。申請番号39番を事前審査委員の報告のとおり許可、とすることに賛成の委員の起立を求めます。

(全員起立)

議長

起立全員です。よって、議案第1号、農地法第3条(委員会)申請番号39番を事前審査委員の報告のとおり許可、と決定しました。

議長

次に、日程2、議案第2号、農地法第4条(知事)を議題といたします。申請番号5番について事務局より説明を求めます。

事務局

議案書2頁をご覧ください。議案第2号、農地法第4条(知事)について許可申請が1件ありましたので審議を求めます。

申請番号5番、申請理由は農業用施設の新設です。今まで春日部市内の農協の施設を借りて、市内の生産者15、6名と共に農作物を販売していましたが、返還したことで販売所が無くなったこと、今後も販売所を作ってほしいとの要望があったため転用申請したものです。施設には販売所の外、荷さばき所及び来客用駐車場6台分を設置する計画です。案内図は5頁、詳細図は6頁となります。現地はスクリーンをご覧ください。農用地からの除外については、証明書が添付されています。該当する土地改良区はありません。接続道路は北側の道路に接続しています。被害防除措置として丸太柵を設置します。雨水は敷地内浸透処理です。資金計画については自己資金で、金融

機関発行の残高証明書が添付されています。農地転用に係る事業計画の内容が開発行為を伴うため、本申請と同時に開発申請手続きがされています。申請書は整い、農地区分は申請地周辺は農振農用地です。

議長

次に、申請番号5番について担当地区の野村三男推進委員より意見を求めます。

推進委員

第1地区推進委員の野村三男です。申請番号5番について報告いたします。本案件の現地調査は、令和6年9月9日に、新井農業委員、中山農業委員、森本農業委員、田口推進委員、私及び事務局職員1名の計6名で申請地及び申請人保有農地の現地調査を実施しました。申請地は更地、一部タケノコ生産のための竹林であり、農地として適正に管理されておりました。また申請人は梨を中心とする果樹農家ですが、保有農地の状況は果樹類、野菜類が作付けされており、適正に管理されております。しかし、田については雑草が繁茂していたため、申請人に確認したところ「この農地は著しい湿田のため、管理保全をしており、毎年、梨の収穫が済んで一段落し、農業機械が入れる時期に草刈りを行う、とのことでした。申請人に対しては速やかに除草管理するよう指導しました。また庄和地区に所有する農地は貸付地として耕作されている、とのことでした。このようなことから一部の農地を除き、農地法第2条の2で定められた農地の農業上の適正かつ効率的な利用が確保されているため、問題なし、と意見を述べ、報告といたします。

議長

次に、事前審査委員より報告を求めます。議席番号11番新井久義委員より申請番号5番の事前審査の報告を求めます。

委員

議席番号11番新井久義です。申請番号5番について事前審査の報告をします。日時、事前審査委員等はお示ししたとおりです。申請地及び保有農地について担当地区推進委員に意見を求めたところ、申請地は問題ないものの、保有農地の一部に雑草が繁茂しており、申請人にも改善を求めましたが「他の農作物の収穫が終わってから改善を行う」との意思を示しており、一部の農地では農地法第2条の2で定められた農地の農業上の適正かつ効率的な利用が確保されていない、との報告を受けました。次に、申請地の現地調査を実施したところ、担当地区推進委員の報告のとおり保有農地の一部には雑草が繁茂しており、農地として適正な利用がされていませんでした。申請書類について問題は無く、周辺農地に及ぶ影響も無いと思われまます。以上のことから、埼玉県審査にあたっては、保有農地の管理状況を十分精査することを条件とし、事前審査委員4人の合議により許可相当、とすることと決しました。

議長	これより質疑を求めます。発言のある方は挙手を願います。 (質問、意見なし)
議長	質疑なしと認め、質疑を終結します。採決にはいります。申請番号5番を事前審査委員の報告のとおり許可相当とし、ただし事前審査委員の報告のとおり、意見書に条件を付することに賛成の委員の起立を求めます。 (全員起立)
議長	起立全員です。よって、議案第2号、農地法第4条(知事)申請番号5番を許可相当とし、ただし事前審査委員の報告のとおり、意見書に条件を付して県知事に送付いたします。
議長	次に、日程3、議案第3号、農地法第5条(知事)を議題といたします。申請番号35番から41番について、事務局より説明を求めます。
事務局	議案書3頁をご覧ください。議案第3号、農地法第5条(知事)について許可申請が7件ありましたので審議を求めます。 はじめに、申請番号35番、所有権移転。詳細は議案書のとおり。申請法人は建造物の解体や産業廃棄物の処理業を営んでおり、転用計画は資材置場の設置です。今まで本社敷地内において再生砕石の生産と保管を行い、現場に納入していましたが、保管場所が狭いことと効率が悪いことから、新たに資材置き場を設置する計画です。案内図は7頁、詳細図は8頁となります。現地はスクリーンをご覧ください。農用地からの除外については証明書が添付されています。農地の転用については該当する土地改良区発行の意見書が添付されています。被害防除措置として土留めを設置します。雨水は砕石敷きのため敷地内浸透処理です。資金計画については自己資金で預金通帳の写しが添付されています。申請書は整い、農地区分は申請地周辺は集团的農地が10ヘクタール未満であり、第2種農地と考えます。 次に、申請番号36番、37番については申請者が同一のため、一括にてご説明いたします。はじめに、申請番号36番、使用貸借権設定。詳細は議案書のとおり。次に、申請番号37番、使用貸借権設定。詳細は議案書のとおり。転用計画は自己用住宅を建築するため、市街化調整区域に長期居住する者の親族のための自己用住宅に該当します。申請番号36番は、隣接する非農地329.69㎡と併せて自己用住宅を建築する計画です。申請番号37番は、自己用住宅の建築に伴う新設排水管設置のための一時転用申請です。申請番号36番の案内図は9頁、詳細図は10頁、申請番号37番の案内図は11頁、詳細図は12頁となります。現地はスクリーンをご覧ください。

い。農用地からの除外については、令和6年1月18日付け、目的は自己専用住宅で公告済の証明書が添付されています。農地の転用については該当する土地改良区発行の支障ない旨の意見書が添付されています。農用地からの一時転用については適合証明書が添付されています。農地の一時転用にかかる工事期間は令和7年3月1日から1か月間です。接続道路は南側の道路に接続しています。被害防除措置としてなだらかな法面を設置します。雨水は敷地内浸透処理です。生活排水は合併処理浄化槽で処理後、既設道路側溝に放流する計画です。資金計画については金融機関からの融資で、住宅ローン事前審査結果が添付されています。農地転用に係る事業計画の内容が開発行為を伴うため、本申請と同時に開発申請手続きがされています。申請書は整い、農地区分は申請地周辺は農振農用地です。

次に、申請番号38番、使用貸借権設定。詳細は議案書のとおり。転用計画は農地改良工事で、申請地は数年前の大雨・台風の影響を受けて以降、地盤が軟弱で水はけが悪く、耕作に困難を要するため、農地改良を行い、蕎麦、麦を作付ける計画とのことです。工事内容は、現在の表土を耕作土として使用するため、一般残土を搬入したあと、表土を埋め戻す客土Cの方法で行うとのことです。案内図は13頁、詳細図は14頁から18頁となります。スクリーンをご覧ください。申請地となります。ここでは千葉県農業法人が利用権を設定した上で畑として蕎麦、麦を作付ける計画です。この農業者が保有する農地は幸手市です。幸手市農業委員会に事務局が確認したところ、申請人は保有農地の耕作を行っている、とのことでした。工事期間は許可日から9か月間です。農用地からの一時転用については適合証明書が添付されています。農地の転用については該当する土地改良区発行の支障ない旨の意見書が添付されています。資金計画については自己資金で、金融機関発行の残高証明書が添付されています。なお、この案件につきましては申請地全体を一体の断面とし、盛り土上面を申請地北側にある国道16号線の側道に合わせて均一の高さとし、農地改良することを前提に申請がされています。埼玉県「農地改良等の取扱いに関する要綱」では、畑地に盛り土をする際の基準として「盛り土の上面は隣接する道路面の低い方に対して30センチまでとする」と定められていますが、現在の申請では申請地中央に敷設された市の排水路を挟んで南側面の高さが80センチとなっております。申請者にその理由を確認したところ、申請地全面を耕作しやすいようにするため、主な接道となる北側面の高さに盛り土を合わせた、とのことです。申請書は整い、農地区分は申請地周辺は集団的農地が10ヘクタール未満であり、第2種農地と考えます。また、申請面積が30アール以上のため、農地法第5条第3項の規定に基づき農業委員会ネットワーク機構、一般社団法人埼玉県農業会議に意見を求めます。

次に、申請番号39番、所有権移転。詳細は議案書のとおり。転用計画は自己用住宅を建築するため、市街化調整区域に長期、土地を所有する者の親

族のための自己用住宅に該当します。案内図は19頁、詳細図は20頁となります。現地はスクリーンをご覧ください。農用地からの除外については証明書が添付されています。農地の転用については該当する土地改良区発行の支障ない旨の意見書が添付されています。接続道路は西側の道路に接続しています。隣接する農地はありません。雨水は敷地内浸透処理です。生活排水は合併処理浄化槽で処理後、既設道路側溝に放流する計画で、該当する土地改良区発行の排水放流許可書が添付されています。資金計画については金融機関からの融資で、住宅ローン事前審査結果が添付されています。農地転用に係る事業計画の内容が開発行為を伴うため、本申請と同時に開発申請手続きがされています。申請書は整い、農地区分は申請地周辺は集团的農地が10ヘクタール未満であり、第2種農地と考えます。

次に、申請番号40番、所有権移転。詳細は議案書のとおり。転用計画は自己用住宅を建築するため、市街化調整区域に長期居住する者の親族のための自己用住宅に該当します。案内図は21頁、詳細図は22頁となります。現地はスクリーンをご覧ください。農用地からの除外については証明書が添付されています。該当する土地改良区はありません。接続道路は北側の道路に接続しています。被害防除措置はコンクリートブロックを設置します。雨水は敷地内浸透処理です。生活排水は下水本管に区域外放流する計画で、市の制限行為許可書が添付されています。資金計画については金融機関からの融資で、住宅ローン事前審査結果が添付されています。農地転用に係る事業計画の内容が開発行為を伴うため、本申請と同時に開発申請手続きがされています。申請書は整い、農地区分は街区の面積に占める宅地化率40%の区域内になる農地であり、第3種農地と考えます。

次に、申請番号41番、所有権移転。詳細は議案書のとおり。申請法人は古物商を営んでおり、転用計画は従業員用駐車場の設置です。現在使用している駐車場は契約が継続できないこと、また事業所を移転する計画があるため、移転先に近い申請地に車両7台分の駐車場を新設する計画です。案内図は23頁、詳細図は24頁となります。現地はスクリーンをご覧ください。農用地からの除外については証明書が添付されています。該当する土地改良区はありません。被害防除措置としてコンクリートブロックが設置されています。雨水は敷地内浸透処理です。資金計画については自己資金で金融機関発行の残高証明書が添付されています。申請書は整い、農地区分は、申請地周辺は集团的農地が10ヘクタール未満であり、第2種農地と考えます。

議長

次に、申請番号36番から37番について担当地区の中井訓推進委員より意見を求めます。

推進委員

第3地区推進委員の中井訓です。申請番号36番、37番について一括で報告いたします。令和6年9月11日に萩原農業委員、池上農業委員、関根

	推進委員及び私の4名で申請地及び保有農地の現地調査等を実施しました。その結果、どの農地も問題無く耕作されており、農地法第2条の2で定められた農地の農業上の適正かつ効率的な利用が確保されていることが確認できました。以上のことから問題なし、と意見を述べ、報告いたします。
議長	次に、申請番号38番について担当地区の石井茂推進委員より意見を求めます。
推進委員	第3地区推進委員の石井茂です。申請番号38番について報告いたします。令和6年9月11日に水口農業委員、岡田農業委員、横川推進委員及び私の4名で申請地の現地調査等を実施したところ、農地法第2条の2で定められた農地の農業上の適正かつ効率的な利用が確保されていることを確認しました。なお、地域外の保有農地については事務局から問題なしと報告を受けております。以上のことから問題なし、と意見を述べ、報告いたします。
議長	次に、申請番号39番について担当地区の小川優推進委員より意見を求めます。
推進委員	第2地区推進委員の小川優です。申請番号39番について報告いたします。令和6年9月10日に、川鍋農業委員、加藤農業委員、大塚推進委員、及び私の4名で申請地及び保有農地の現地調査等を実施しました。その結果、農地法第2条の2で定められた農地の農業上の適正かつ効率的な利用が確保されていることが確認できました。以上のことから問題なし、と意見を述べ、報告いたします。
議長	次に、事前審査委員より報告を求めます。議席番号12番加藤富夫委員より申請番号35番から38番の事前審査の報告を求めます。
委員	議席番号12番加藤富夫です。はじめに、申請番号35番について事前審査の報告をします。日時、事前審査委員等はお示ししたとおりです。申請地の現地調査を実施したところ問題は無く、周辺農地に及ぶ影響も無いと思われれます。申請についても問題は無く、周辺農地に及ぶ影響も無いと思われれます。以上のことから、事前審査委員4人の合議により許可相当、とすることと決しました。 次に、申請番号36番、37番について申請人が同一のため、一括して事前審査の報告をします。日時、事前審査委員等はお示ししたとおりです。申請地及び申請人保有農地について担当地区推進委員に意見を求めたところ、問題は無く、農地法第2条の2で定められた農地の農業上の適正かつ効率的

か利用が確保されている、との報告を受けました。次に、申請地の現地調査を実施したところ問題は無く、周辺農地に及ぶ影響も無いと思われます。申請についても問題は無く、周辺農地に及ぶ影響も無いと思われます。以上のことから、事前審査委員4人の合議により許可相当、とすることと決しました。

次に、申請番号38番について事前審査の報告をします。日時、事前審査委員等はお示ししたとおりです。申請地について担当地区推進委員に意見を求めたところ問題は無く、農地法第2条の2で定められた農地の農業上の適正かつ効率的か利用が確保されている、との報告を受けました。次に、申請地の現地調査を実施したところ、事務局の説明のとおり申請地全体を一体の断面とし、盛り土の高さを申請地北側にある国道16号線の側道に合わせて均一の高さとし、農地改良するとのことですが、耕作面の中央に市の排水路が敷設されており、耕作地は北側面、南側面で分断されます。埼玉県「農地改良等の取扱いに関する要綱」では、畑地に盛り土をする際の基準として「盛り土の上面は隣接する道路面の低い方に対して30センチまでとする」と定められております。このことから、北側面は接道する国道16号の側道の高さを盛り土の高さとし、南側面は東側で接道する市道から30センチを盛り土の高さとしなければならず、やむを得ずこの基準を超える盛り土を行う場合は、きちんとした理由が必要ですが、その理由は今のところ不明瞭なため、理由を明確にする必要があると考えております。以上のことから、埼玉県の審査にあたっては、農地改良における盛り土の高さを十分精査することを条件とし、事前審査委員4人の合議により許可相当、とすることと決しました。

議長

次に、議席番号13番池上茂委員より申請番号39番から41番の事前審査の報告を求めます。

委員

議席番号13番池上茂です。はじめに申請番号39番について事前審査の報告をします。日時、事前審査委員等はお示ししたとおりです。申請地及び申請人保有農地について担当地区推進委員に意見を求めたところ、問題は無く、農地法第2条の2で定められた農地の農業上の適正かつ効率的か利用が確保されている、との報告を受けました。次に、申請地の現地調査を実施したところ問題は無く、周辺農地に及ぶ影響も無いと思われます。申請についても問題は無く、周辺農地に及ぶ影響も無いと思われます。以上のことから、事前審査委員4人の合議により許可相当、とすることと決しました。

次に、申請番号40番、41番について事前審査の報告をします。日時、事前審査委員等はお示ししたとおりです。申請地の現地調査を実施したところ、問題は無く、周辺農地に及ぶ影響も無いと思われます。申請についても問題は無く、周辺農地に及ぶ影響も無いと思われます。以上のことから、事

	前審査委員 4 人の合議により許可相当、とすることと決しました。
議長	これより質疑を求めます。発言のある方は挙手を願います。
委員	はい、議長。
議長	岡田委員、発言を許します。
委員	議席番号 10 番岡田實です。まず申請番号 39 番について質問いたします。今日出席している水口委員等と一緒に申請地の現地確認をしておりますが、スクリーンでも投影されたとおり、雑草が繁茂している状態です。申請から事前審査に至るまで時間がありますが、農地パトロールまでの間には譲受人、譲渡人に事前に指導していただきたいと考えております。これは要望です。 次に申請番号 36 番、37 番について質問いたします。申請内容を見ると、転用計画地より道路側に狭い農地が残ってしまっています。今後の農地利用を考えると、せっかく農地が残っても、これでは利用しにくいのではないかと考えます。農業振興課あるいは開発調整課が、申請人に対して何か指導ができなかったのか、お伺いしたいと思います。 次に申請番号 38 番について質問いたします。譲受人となる農地改良を行う法人の、春日部市内での実績をお伺いしたいと思います。
議長	岡田委員に確認します。1 点目は要望で、2 点目は農業振興課及び開発調整課への質疑で、3 点目は農業委員会事務局への質疑でよろしいですか。
委員	はい。それでお願いします。
議長	では、はじめに申請番号 36 番、37 番について、農業振興課及び開発調整課より回答をお願いします。
議事参与	農業振興課の浜村です。今回の案件については申出を受け、既に除外となった案件です。除外にあたっては農地法の許可相当かどうか、開発の許可相当かどうか、ということも確認しております。形状が悪いことについては当時の指導の際に、再三話をしております。農地法上の基準については、農業委員会事務局に回答をお願いします。
事務局	はい、説明いたします。農地法上における転用申請は、必要最小限に、というものがあるので、このような形状になったと考えております。また、今後農地は残りますので、農地の耕作はきちんと行っていただくよう依頼する

議事参与	とともに、もし耕作がされない場合については、担当地区の農業委員、推進委員とともに指導していきたいと考えております。 開発調整課の福井です。こちらの案件については事前に相談票が提出されており、その段階では条件的に問題無い、と回答しております。今回の除外については農地が残りますが、先ほどの農業委員会事務局の答弁のとおり、対応していただきたいと考えております。
委員	はい議長
議長	岡田委員、発言を許します。
委員	議席番号10番、岡田です。申請番号36番、37番については、土地改良区理事時代に、何度も現地に赴いております。スクリーンでも確認できるとおり、形状が悪いため、申請番号37番の排水管理設を行う部分から出入りしたほうがよいのでは、と考えています。農業振興課はじめ各部署が問題無いと判断した、ということですが、私はそう考えた次第です。
議長	次に、申請番号38番について、事務局より回答をお願いします。
事務局	はい。農地改良を施工する法人ですが、春日部市内では令和3年度に2か所実績がございます。また申請書に添付された資料によれば、令和6年は県内20カ所以上農地改良の許可実績があるとのことでございます。
委員	わかりました。
議長	他に発言のある方は挙手を願います。
	(質問、意見なし)
議長	質疑なしと認め、質疑を終結します。おはかりいたします。はじめに、申請番号38番について、事前審査委員より許可相当とし、条件を付する必要があると報告がありました。次に、申請番号35番から37番及び39番から41番について事前審査委員より許可相当と報告がありました。よって、はじめに申請番号38番、次に申請番号35番から37番及び39番から41番を別々に審議することに異議ございませんか。 (異議なしの声あり)

議長	異議なしと認めます。採決にはいります。はじめに申請番号38番を許可相当とし、ただし事前審査委員の報告のとおり、意見書に条件を付することに賛成の委員の起立を求めます (全員起立)
議長	起立全員です。よって、議案第3号、農地法第5条(知事)申請番号38番を許可相当とし、ただし意見書に条件を付して県知事に送付いたします。なお、38番については、農地法第5条第3項の規定に基づき、農業委員会ネットワーク機構 一般社団法人 埼玉県農業会議の意見を付した上で県知事に送付いたします。 次に、申請番号35番から37番及び39番から41番を事前審査委員の報告のとおり、許可相当とすることに賛成の委員の起立を求めます。 (全員起立)
議長	起立全員です。よって、議案第3号、農地法第5条(知事)申請番号35番から37番及び39番から41番を事前審査委員の報告のとおり、許可相当と決定しました。
議長	次に、日程4、議案第4号、農地法第5条事業計画変更申請を議題といたします。申請番号3番について事務局より説明を求めます。
事務局	議案書7頁をご覧ください。議案第4号、農地法第5条事業計画変更申請について申請が1件ありましたので、審議を求めます。申請番号3番、所有権移転。詳細は議案書のとおり。この案件は自己用住宅を建築するため、令和5年7月4日付で申請、令和5年9月14日付で許可となった農地の事業計画内容を変更するものです。計画変更の理由ですが、当初許可を受けた申請者が土地購入のために住宅ローンの本申し込みを行ったところ、審査が通らなかったこと、また既に計画地外周の工事を施工していたため、取消申請ができなかったため、新たな譲受人とによる計画変更申請を行った、とのことです。転用計画は、自己用住宅を建築するため、市街化調整区域に長期居住する者の親族のための自己用住宅に該当します。案内図は25頁、詳細図は26頁となります。現地はスクリーンをご覧ください。農用地からの除外については令和5年1月13日付け自己専用住宅で公告済です。接続道路は北側の道路に接続しています。被害防除措置としてL字擁壁を設置しています。雨水は、敷地内浸透処理です。生活排水は合併処理浄化槽で処理後、既設道路側溝へ放流する計画です。資金計画については金融機関からの融資で住宅ローン事前審査結果が添付されています。農地転用に係る事業計画の内

容が開発行為を伴うため、本申請と同時に開発申請手続きがされています。申請書は整い、農地区分は申請地周辺は農振農用地です。

議長 次に、事前審査委員より報告を求めます。議席番号13番池上茂委員より申請番号3番の事前審査の報告を求めます。

委員 議席番号13番池上茂です。申請番号3番について、事前審査の報告をします。日時、事前審査委員等はお示ししたとおりです。申請地の現地調査を実施したところ、問題はありませんでした。申請についても問題は無く、周辺農地に及ぶ影響も無いと思われまます。以上のことから、事前審査委員4人の合議により承認する、ことと決しました。

議長 これより質疑を求めます。発言のある方は挙手願います。

(質問、意見なし)

議長 質疑なしと認め、質疑を終結します。採決にはいります。議案第4号、農地法第5条事業計画変更申請、申請番号3番について事前審査委員の報告のとおり承認することに、賛成の委員の起立を求めます。

(全員起立)

議長 起立全員です。よって、議案第4号、農地法第5条事業計画変更申請、申請番号3番については承認する、と意見を付して県知事に送付いたします。

議長 次に、日程5、議案第5号、生産緑地法従事者証明を議題といたします。申請番号4番について、事務局より説明を求めます。

事務局 議案書の8頁をご覧ください。議案第5号、生産緑地法従事者証明について証明願が1件ありましたので審議を求めます。生産緑地に指定された市街化区域内の農地は一般農地としての課税になりますが、基本的にこれを解除することができなくなり、開発行為が制限されるなどの制約を受けます。ただし、一定の事由が発生した場合に、生産緑地法第10条の規定により市に対して買い取りの申し出をすることができるようになっています。当該議案の証明願につきまして、生産緑地法第10条の規定に基づく生産緑地の買取り申出をするため「春日部市生産緑地に係る農業の主たる従事者についての証明書発行規程」に基づき「農業の主たる従事者」としての要件を満たしていることを証明するものです。

議案書8頁、申請番号4番、特定生産緑地第15号地区の全部です。詳細

は議案書のとおり。案内図は27頁及びスクリーンをご覧ください。申請理由は対象者がこれまで農業を営んでおりましたが、令和5年12月13日に死亡したことにより、申請人が農業を続けられないため、この度の申請に至ったものです。

議長 次に、申請番号4番について担当地区の関根栄推進委員より意見を求めます。

推進委員 第2地区推進委員関根栄です。申請番号4番について報告いたします。令和6年9月10日に、石川農業委員、岩本推進委員、及び私の3名で申請地の現地調査を実施しました。まず申請地については定期的に除草された形跡があり、問題ありませんでした。その結果、農地法第2条の2で定められた農地の農業上の適正かつ効率的な利用が確保されていることが確認できました。以上のことから問題なし、と意見を述べ、報告といたします。

議長 次に、事前審査委員より報告を求めます。議席番号13番池上茂委員より申請番号4番の事前審査の報告を求めます。

委員 議席番号13番池上茂です。申請番号4番について事前審査の報告をします。日時、事前審査委員等はお示ししたとおりです。担当地区推進委員に意見を求めたところ、現地は定期的に除草されており、農地法第2条の2で定められた農地の農業上の適正かつ効率的な利用が確保されていることが確認できた、と報告を受けました。以上のことから、事前審査委員4人の合議により証明する、とすることと決しました。

議長 これより質疑を求めます。発言のある方は挙手願います。

(質問、意見なし)

議長 質疑なしと認め、質疑を終結します。採決にはいります。申請番号4番を事前審査委員の報告のとおり証明することに賛成の委員の起立を求めます。

(全員起立)

議長 起立全員です。よって、議案第5号、生産緑地法従事者証明、申請番号4番について証明書を発行することと決しました。

議長 次に、日程6、議案第6号、春日部市農用地利用集積計画の決定についてを議題といたします。事務局より説明を求めます。

事務局

議案書 9 頁をご覧ください。議案第 6 号、春日部市農用地利用集積計画の決定について、これは、利用権の設定に伴う春日部市農用地利用集積計画の決定です。春日部市長から、農業経営基盤強化促進法における改正附則第 5 条第 1 項に規定する農用地利用集積計画に関する経過措置に基づき、改正前の農業経営基盤強化促進法第 18 条第 1 項の規定により、決定を求められたので審議を求めるものです。8 月 23 日に農業委員に説明し、9 月 6 日まで意見の聴取を依頼しましたが、意見はありませんでした。このようなことから、議案書 10 頁のとおり春日部市長あて回答してよいか、ご審議お願いいたします。

議長

これより質疑を求めます。発言のある方は挙手願います。

(質問、意見なし)

議長

質疑なしと認め、質疑を終結します。採決にはいります。議案第 6 号、春日部市農用地利用集積計画の決定について原案のとおり決定することに賛成の委員の起立を求めます。

(全員起立)

議長

起立全員です。よって、議案第 6 号、春日部市農用地利用集積計画の決定について原案のとおり決定し、春日部市長に報告いたします。

議長

次に、日程 7、議案第 7 号、生産緑地地区の取得斡旋についてを議題といたします。事務局より説明を求めます。

事務局

議案書の 15 頁をご覧ください。議案第 7 号、生産緑地の取得斡旋について斡旋依頼が 1 件ありましたので審議を求めます。生産緑地法第 13 条の規定に基づき、春日部市が買い取らないことが決定した生産緑地については農業者への斡旋を行うにあたり、生産緑地法第 17 条の 2 の規定に基づき、依頼があったものです。この斡旋により生産緑地を取得するためには、農地法第 3 条許可の手続きが必要です。また取得後は農地として管理することが義務付けられています。この案件については、春日部市長より令和 6 年 7 月 26 日付けにて当該生産緑地の取得斡旋の依頼があったので、農業委員に斡旋の依頼と、9 月 24 日まで市ホームページにも公開しましたが、共に申出はありませんでした。よって、議案書 16 頁のとおり「買取希望の申出者はありませんでした」と回答してよいか、ご審議をお願いいたします。

議長	これより質疑を求めます。発言のある方は挙手願います。 (質問、意見なし)
議長	質疑なしと認め、質疑を終結します。採決にはいります。議案第7号、生産緑地地区の取得斡旋について原案のとおり決定することに賛成の委員の起立を求めます。 (全員起立)
議長	起立全員です。よって、議案第7号、生産緑地地区の取得斡旋について原案のとおり決定し、春日部市長に報告いたします。
議長	次に、日程8、議案第8号、令和7年度春日部市農業施策等に関する意見書についてを議題といたします。事務局より説明を求めます。
事務局	議案書18頁をご覧ください。議案第8号、令和7年度春日部市農業施策等に関する意見書についてご説明いたします。「農業委員会等に関する法律」第38条第1項では「農業委員会は、その所掌事務の遂行を通じて得られた知見に基づき、農地等の利用の最適化の推進に関する事項に関する事務をより効率的かつ効果的に実施するため必要があると認めるときは、農地等の利用の最適化の推進に関する施策を企画立案し、又は実施する関係行政機関又は関係地方公共団体に対し、農地等利用最適化推進施策の改善についての具体的な意見を提出しなければならない」とことと定めております。本年4月に募集した「令和7年度県農地利用の最適化施策に関する意見」の際に提出があった市に対するご意見、またその他様々な機会に農業委員の皆様からいただいたご意見を運営委員会で取りまとめましたので、春日部市長あて要望するものでございます。なお「農業委員会等に関する法律」第38条第2項では「要望を受けた関係行政機関等は、農地等利用最適化推進施策の企画立案又は実施に当たっては、同項の規定により提出された意見を考慮しなければならない」とことと定めております。なお、意見書の内容については議案書の20頁、21頁のとおりです。この意見書を市長あて提出してよいかご審議をお願いいたします。
議長	これより質疑を求めます。発言のある方は挙手願います。
委員	はい、議長。
議長	岡田委員、発言を許します。

委員

議席番号10番岡田實です。議案第8号、令和7年度春日部市農業施策等に関する意見書について質問いたします。

はじめに、議案書20頁、本文中の上から11行目から12行目にかけて記載のある「農地等利用最適化推進施策を企画立案し」とありますが、具体的な政策について教えていただきたいと考えています。

次に、議案書21頁の「1 農地利用の集積・集約化について」を質問します。老朽化した水路の改修は、以前から地元地区より要望が多く出ていると聞いていますが、農業振興課あるいは河川課が対応すると思うがいかがでしょうか。

次に「2 遊休農地の発生防止・解消」について質問します。文中には「行政が牽引役となって販路の拡大を含めた細やかな支援」とありますが、具体的にどのような支援を要望するのか質問します。

次に「3 農業委員会事務局の体制について」質問します。文中には「土地行政の経験のある職員を要望」とありますが、何を指しているのかわかりやすく教えてください。

議長

このことについて、事務局より回答をお願いします。

事務局

はい、はじめに、この意見書についてですが、来年の予算要求を見据えた概略的なものであり、一つ一つの事業に予算措置する、しない、というものではございません。全体的なものとしてご理解ください。

次に議案書20頁にある「農地利用最適化推進施策」について、でございますが、まさに今、各地区で策定している地域計画がこれにあたるものでございます。5年後、あるいは10年後の将来像を皆さんと計画し、施策立案していくものでございます。

次に議案書21頁の1番め「農地利用の集積・集約化について」でございますが、水路の補修については、全てを補修できていないのも事実でございます。こちらに予算の要望をしていきたい、というものでございます。

次に2番目の「遊休農地の発生防止・解消について」でございますが、農家さんが施設を借りて農作物を販売する、というのは今までございましたが、行政が仕掛けて直売所を作る、というものはございませんでした。市庁舎内での販売も行っていますが、日数も限られたものですので、このようなことを充実してほしい、という要望でございます。

最後に3番目の「農業委員会事務局の体制について」でございますが、市役所の人事上のこととなりますが、配属される事務局職員が必ずしも農地行政や土地行政に明るい職員ばかりではございません。特に開発関係の経験、道路関係の経験がある職員の配置を要望していきたいというものでございます。

議長 岡田委員、よろしいですか。

委員 はい、議長。

議長 岡田委員、発言を許します。

委員 「農地利用の集積・集約化について」ですが、対象地域では前市長のときから要望を続けていたという認識があります。早急に対応が必要な箇所もありますので、来年度予算の中で対応していただきたいと考えています。

次に、「農業委員会事務局の体制について」でございますが、事務局と農業振興課一体になって農業者のために尽力していただけたらと考えております。以上は要望でございます。

議長 他に発言のある方は挙手を願います。

(質問、意見なし)

議長 質疑なしと認め、質疑を終結します。採決にはいります。議案第8号「令和7年度春日部市農業施策等に関する意見書について、原案のとおり決定することに賛成の委員の起立を求めます。

(全員起立)

議長 起立全員です。

よって、議案第8号、令和7年度春日部市農業施策等に関する意見書について原案のとおり決定し、春日部市長に意見書を提出いたします。

議長 次に、

日程9 報告第1号「農地法第3条の3（相続等による権利移動）」

日程10 報告第2号「農地法第4条（届出）」

日程11 報告第3号「農地法第5条（届出）」

日程12 報告第4号「農地法第18条（通知）」

日程13 報告第5号「違反転用事案報告」

につきましては、議案書の22頁から35頁にお示しのとおりです。

議長 次に、配布資料につきましては、お手元の資料のとおりです。

議長 次に、その他でございますが、何かありますか。

	(議席番号14番森本委員、議席番号19番石塚委員から農業施策についての意見あり) 議長 次に、次回日程及び次回事前審査につきましては、事務連絡にてお示しのとおりです。 議長 本日の議案の審議ならびに報告等はすべて終了いたしました。 議長 以上をもちまして、2024年第9回総会を閉会いたします。 閉会 (午前11時38分)

議事の顛末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

令和6年 月 日

署名者の職・氏名

議長 会長 _____

農業委員 14番 _____

農業委員 15番 _____

農業委員 16番 _____